

(HP 用)

平成 30 年度	中区障害者自立支援協議会 発達部会 第 2 回研修事前打ち合わせ会議録
日 時	平成 30 年 9 月 3 日 (月) 15 時 30 分～16 時 30 分
開催場所	みはらしポンテ 相談室 2
出席者	5 人
欠席者	3 人
開催形態	公開 (傍聴人: 名) ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">非公開</span>
議 題	① 8 月 10 日研修会振り返り、アンケート等について ② 次回研修会 (2 月) について ③ 部会の方向性について
議 事	<p>① 研修会 8 月 10 日 (金) 中区役所 7 階会議室にて実施。 テーマ: 発達障害って? 「生きやすさを探すイイトコサガシ」 講師: 冠地 情 氏 参加人数: 33 名 (事務局、構成員含む) 参加者の所属としては、計画相談事業所、学校関係、ヘルパー事業所、保護者、訪問看護、回復施設職員、就労移行緯線事業所職員等。</p> <p>◇振り返りとして</p> <p>今回は、日数的にも周知までに余裕がなかったが、その為、参加人数が少なかったが、最終的には二ケタに達した。計画的に進める事が必要であった。冠地氏が行っている、フェイスブックの投稿を行った。</p> <p><b>【全体的な感想】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今回、冠地氏を迎えて、とてもインパクトが大きい方だった印象があった。アンケートからも、相談支援、保護者の方が多く、学校関係者は今回、参加は殆どなかったことが残念であった。冠地氏からは、当事者目線での伝えたい事がとてもはっきりしていてよかった。分かりやすかった。</li><li>・エネルギーがインパクト大きかった。当事者でありながら、とても前向きで積極的だった。ワークショップの参加型がとても良かった。</li><li>・はじめは、冠地氏の世界観が難しいと感じたが、ワークショップに参加して、前半と後半が繋がった。ワークショップの時間がもう少し多くあったらよかったのでは。</li><li>・前半と後半「心に刻んでほしい」…はじめは理解することに時間がかかったが、ワークショップで内容が繋がった。</li><li>・今までにない感覚で、新鮮だった。</li><li>・当事者に対して、今までに研修では、無理しないで、みたいなところが多かったが、今回は、「全力で行ってください」という様な感じがとても印象的であった。</li></ul>

- ・依存症回復施設の方々が参加。「発達障害」に向けた関心があった様子。
- ・(冠地氏) 自分の気持ちなどをどの様に、表現していたのか→当事者の代弁者
- ・生きづらさなど抱えてきた中での表現だったのでは。

## ② 2月の研修会について

講師：日野 氏（名峰館高等学校 学校長）に依頼。

対象：学校関係にこだわらず、周知していく（サービス事業所等）、保護者、一般等。年齢層も高めに設定（高校生以上）、区の広報にも載せたい。

日程候補日：2月5日（火）、2月6日（水）、2月8日（金）

時間：14：00～16：00

謝礼金：中区基幹

チラシ作成：中区生活支援センターに依頼する。

テーマは、9月内に加藤氏と講師で調整を行う。その後、メールで部会内でも共有する。今回は、講義形式。

研修会までの流れとして、9月～10月にかけて、講師とテーマ、内容などを確認。

10月、チラシ作成～完成。確認を取り、1月に入ってからチラシ周知を行う。

区の広報誌は、11月までに確認を取る。

## ③ 部会の方向性について

◇ライフステージに応じた支援ができるよう、こどもの支援者ともに連携し、発達障害児者の理解普及啓発を行う。

◇当事者のこえに耳を傾け、真に必要なものの確認を行い、中区民が使える社会資源を確認。社会資源に関する情報の整理、分かりやすい案内（社会資源の資料もしくはホームページ作成など）が出来る様にする。

上記の方向性の中で、今後部会構成員も増やしていきたいと考えている。

次回部会：H30年 12月10日か12月12日に15：30～みはらしポンテ相談室2にて行う。